

今月の担当：マイケル・ヒューズ

(ALTの原文を掲載しています)



In early June I went to Koyasan by myself, to eat shoujin ryori and stay at a temple. I have been many places in Japan since coming to Iwagi, but I had never actually slept in a temple, eaten there, and attended morning prayers, so I was very excited to try this new experience.

I had wanted to go to Koyasan for a long time; I heard about it two years ago and it sounded fascinating. But what really motivated me to go was becoming vegetarian this year. (I have since become vegan, but in early June I had stopped eating meat and fish completely). Shojin ryori is of course vegetarian, so I wanted to try this world of new flavors and also meet people who I thought were vegetarian.

The local train towards Koyasan went through the mountains—from the window I could see tiny villages and deep valleys of fog. Almost all of the trees, unlike Iwagi, were evergreens, so the atmosphere was very different. And when I arrived at the temples of Koyasan, it felt very far from the villages and the life of society below.

Koyasan is a place of peace. I took a long walk around the still ponds, and the dark wooden temples in the afternoon and later at night. There was one enormous orange pagoda that was illuminated in the darkness, and as I walked around it, I could hear priests chanting in the distance.

I also ate shoujin ryori that night, which was delicious. I think it is really a unique taste in Japanese cuisine, and I want to try more of it. After eating I talked to the priests about their lives, and I learned that most priests are in fact not vegetarian. At that particular temple, priests must eat shoujin ryori while they work—usually for breakfast and lunch, but after going home they can eat whatever they want. It was interesting talking about the history of Buddhism in Japan, and how it has changed.

Overall, Koyasan made a big impression on me, and gave me much to think about. After attending prayers the next morning, I left the temples, descended a cable car, and took the train back through foggy valleys and tall evergreen mountains.

英会話教室	《弓削》	毎週月曜日	19:30 ~	弓削地域交流センター
	《生名》	毎週月曜日	9:00 ~	3分団集会所
	《岩城》	毎週木曜日	20:00 ~	岩城総合支所庁舎
	《魚島》	毎週水曜日	19:30 ~	魚島開発総合センター

6月の初め、私は一人で高野山へ行ってきました。精進料理を食べ、お寺に泊まるためです。岩城に来て以来、日本の多くの場所を訪ねてきましたが、実はお寺に泊まったり、精進料理を食べたり、朝の読経に参加したりしたことはありませんでした。ですから、これらのことを新しく経験するのをとても楽しみにしていました。

私は長い間、高野山に行ってみたいと思っていました。高野山のことは2年前に聞いていて魅力的だと思っていたからです。しかし、高野山に行く決め手となったのは、私自身が今年から菜食主義者になったことでした。(6月の初めまでは肉や魚を食べていましたが、高野山を訪れて以来、完全に食べるのをやめました) 精進料理はもちろん野菜だけを使った料理です。私はこの未知の世界に触れ、また私が菜食主義者と思っている人に出会えるのを楽しみにしていました。

地元の電車に乗って高野山へ行く途中で山々を通り過ぎましたが、窓から小さな村や霧で覆われた深い谷が見えました。その木々のほとんど全部が岩城のものとは違って常緑樹でした。そのため雰囲気も岩城とはまったく違っていました。高野山のお寺に着いたとき、ここは村から遠いところにあるだけでなく、眼下で営まれている暮らし(俗世)とはかけ離れているのだと感じました。

高野山は穏やかな場所です。昼間と夕食後夜に水面の波立っていない静かな池や暗い木造のお寺の周りを長い時間かけて散歩しました。大きなオレンジ色の塔がひとつあって暗闇の中で照らし出されていました。その周りを歩いていると、遠くでお坊さんが読経する声が聞こえました。

その夜、精進料理も食べましたが、おいしかったです。精進料理は日本料理に特有の味だな、もっと食べてみたいなと思いました。食べ終わった後でお坊さんに彼らの生活についての話を聞き、お坊さんの多くが実際には菜食主義者ではないということが分かりました。この高野山という特別なお寺で働いている間、お坊さんは精進料理を食べなければなりません。いつもは朝食と昼食に精進料理を食べますが、家に帰った後は食べたいものを何でも食べることができそうです。日本における仏教、またそれがどのように変わってきたのかを聞いて興味深かったです。

今回の旅では、高野山に大きな影響を受け、また多くのことを考えるきっかけともなりました。翌朝の読経に参加してから、私はお寺を出ました。ケーブルカーを降り、電車で霧がかかった谷と背丈の高い常緑樹の山々を通り抜けて戻ってきました。

ALTコーナー英文音声ファイルURL

<https://soundcloud.com/kouhou-kamijima>



こんにちは
町長です



「上島町は瀬戸内のデイズニージー」。
そのように感じたことがあるのは、私だけではないと思います。

世界で唯一「海」をテーマにしたパーク「東京デイズニージー」は、一歩足を踏み入れると、海にまつわる物語や伝説を題材にした、冒険とロマンス、発見の溢れる世界が広がります。また、エントランスに入つてすぐの「メディテレーニアンハーバー」は、イタリアの風景が再現されており、ゴンドラが優雅に運航されています。デイズニージーのプロメテウス火山のモデルとなったのは、イタリアのヴェスヴィオ火山と言われており、パーク内のホテル「ミラコスタ」は、イタリア語で「海を眺めること」という意味です。

上島町の港の地形は、このデイズニージーに酷似しています。その上、上島町の景観や気候、特産品のレモンや魚類は、イタリアと共通点が多いことは以前からお伝えしている通りであり、不思議な縁を感じます。

これからの地方創生のキーワードは「物語」と「交流」です。もちろん、イタリアとの友好民間交流も重要な要素となり、上島町のブランド力を高めてくれるでしょう。

そして何よりも、上島町民が先人から脈々と受け継いでいる「温かな人間性」は、デイズニージーパークのカストーディアルの行動基準と共通する貴重な財産です。

上島町長 上村俊之

上島町 10月 行事カレンダー

1日(土)	魚島地区秋祭り(9月30日から2日まで)
2日(日)	久司浦地区秋祭り
3日(月)	潮湯休館日
4日(火)	スポレク体育館・岩城郷土館休館日
5日(水)	潮湯水中歩行講座(10:45～11:30)
6日(木)	
7日(金)	潮湯水中歩行講座(10:45～11:30)
8日(土)	生名地区秋祭り(9日まで) 岩城地区秋祭り(9日まで) 佐島地区秋祭り(9日まで)
9日(日)	土生地区秋祭り
10日(月)	体育の日 潮湯・岩城郷土館休館日
11日(火)	スポレク体育館・岩城郷土館休館日
12日(水)	行政相談(せとうち交流館10:00～12:00) 行政相談(3分団集会所10:00～12:00)
13日(木)	
14日(金)	下弓削地区秋祭り(16日まで) 潮湯水中歩行講座(10:45～11:30)
15日(土)	上弓削地区秋祭り(16日まで)
16日(日)	生名地区地域ふれあい学習会(生名小学校10:30～)
17日(月)	潮湯休館日
18日(火)	スポレク体育館・岩城郷土館休館日
19日(水)	
20日(木)	
21日(金)	潮湯水中歩行講座(10:45～11:30)
22日(土)	魚島地区地域ふれあい学習会(魚島小・中学校10:35～)
23日(日)	上島町長選挙・上島町議会議員選挙投票日
24日(月)	潮湯休館日
25日(火)	スポレク体育館・岩城郷土館休館日
26日(水)	
27日(木)	
28日(金)	
29日(土)	引野・明神地区秋祭り(30日まで) 上島町文化祭総合開会式(岩城開発総合センター9:30～) 岩城文化祭(岩城開発総合センター30日まで)
30日(日)	サイクリングしまなみ2016
31日(月)	潮湯休館日

今月の税金の納期限

10/31(月)	<ul style="list-style-type: none"> ○国民健康保険税第4期分 ○後期高齢者医療保険料第4期分 ○町県民税第3期分
----------	--

戸籍だより

※戸籍だよりは、上島町各総合支所窓口へ届け出にいられた方で、掲載の了解をいただいた方のみを掲載しています。掲載をご希望の方は、上島町各総合支所住民課へご連絡ください。

- 弓削総合支所 住民課 TEL 0897-77-2503
- 生名総合支所 住民課 TEL 0897-76-3000
- 岩城総合支所 住民課 TEL 0897-75-2500
- 魚島総合支所 住民課 TEL 0897-78-0011

婚姻 いつまでもお幸せに

大鳥 将(弓削)♡田中 杏奈(弓削)
古田 尚也(弓削)♡上村 瑠奈(松山市)

出生 おめでとうございます

杉山 心都(弓削) 奨・希(弓削)
阪井 琴美(生名) 秀聡・亜美(生名)
亀井 星那(岩城) 洋紀・あゆみ(岩城)
高本 穂花(岩城) 功一・美奈(岩城)
原 彩英子(岩城) 大輔・智裕(岩城)

死亡 ご冥福をお祈りいたします

渡部 豊 7月27日 66歳(弓削)
新開 實代香 8月4日 85歳(弓削)
宮本 マサノ 8月6日 100歳(生名)
此村 美樹 8月7日 57歳(弓削)
川中 明美 8月9日 86歳(弓削)
峯松 秀子 8月18日 94歳(生名)
砂川 藤人 8月21日 87歳(岩城)
大北 タカ子 8月22日 85歳(生名)
門田 耕太郎 8月24日 91歳(弓削)
西原 勝子 8月25日 77歳(岩城)
此枝 博美 8月26日 85歳(弓削)
津田 トノミ 8月27日 91歳(岩城)

人口の動き 平成28年8月31日現在 ()は前月比です。

区分	男	女	合計	世帯数
弓削	1,668 (▲41)	1,610 (▲5)	3,278 (▲46)	1,923 (▲38)
生名	732 (▲1)	894 (▲2)	1,626 (▲3)	868 (▲3)
岩城	1,201 (15)	965 (1)	2,166 (16)	1,189 (14)
魚島	104 (0)	93 (▲2)	197 (▲2)	131 (▲1)
合計	3,705 (▲27)	3,562 (▲8)	7,267 (▲35)	4,111 (▲28)